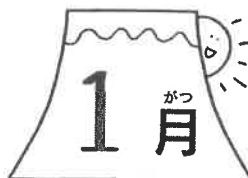




給食だより



あけましておめでとうございます



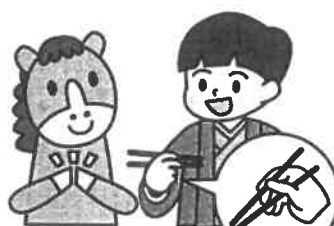
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日

1日を大切に過ごしてほしいと思います。

今年(とし)はうま年!



うまのように野菜を
たっぷり食べよう!



箸(はし)をうまく使いこなして
きれいに食べよう!



よく味わってうま味
を感じよう!

お年玉(としだま)はもち(もち)だった!?



お正月(しょうがつ)は、普段より日本文化を感じる機会が多かったのではないのでしょうか。さて、子供たちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉(としだま)。新年(しんねん)を祝(いわ)って、大人(おとな)から子供(こども)へお小遣(こづか)いを渡(わた)す風習(ふうしゅう)です。もともとは、お正月(しょうがつ)の「歳(とし)がみさま」として「もち」を、歳神様(としがみさま)からの贈り物(おくりもの)として分け与(わ)えたことが始まりとされ、「年玉(としだま)」とは「歳神様(としがみさま)の魂(たましい)」を意味(いみ)します。



1月11日は鏡開き(かがみひらき)



鏡(かがみ)もちを小さく割(ちぎ)ってお汁粉(ちまき)などに入れ、無病息災(むびょうそくさい)を願(ねが)って食べる行事(こうじ)です。もちを小さくするのに、包丁(はちょう)など刃物(やいば)を使(つか)うのは武士(ぶし)の「切腹(せっぽく)」を連想(れんそう)させるため縁起(えんぎ)が悪いとされ、木づて(きづて)にち(ち)手で割(わ)ります。また、「割(わ)る」ではなく「開(ひら)く」という縁起(えんぎ)の良い言葉(ことば)が使(つか)われます。

